

# なぜ大規模校を減らさないで 白根高校家政科をなくすのか

## ひのえうま対策による募集停止

「県立白根高校家政科が来年度から募集停止と報道され、驚いてペンをとりました。ほんとうなんですか」と、一女性から出された市長へのハガキ。私たち広報マンは、この一枚のハガキをもとに、白根高校家政科募集停止についてレポートしてみました。

市政への意見・要望・苦情などをみなさんから聞く「ハガキで市長と話そう」のなから、一枚のこんなハガキが舞い込みました。

新聞に白根高校家政科募集停止の記事を見て驚き、思わずペンをとりました。

市周辺の悲願であった高校が創立二十周年を目前にして募集停止という衰退ぶりは残念です。市の規模からして第二高校くらいあるのが当然なのに……。なぜ白根市民は地元の高校をもっと良くしようと思わないの

でしょう。学区の問題でもござって市外、とくに新潟市の高校に入学させることに執着し続けるのか納得できません。

地元の高校から一流大学入学者や、スポーツ名門校として新聞紙上をにぎわすことを期待していましたのに……。

なぜ大規模校の学級減を行って校舎を是正せずに、わずかに学級の家政科をなくしてしまうのでしょうか。納得できません。市でも存置運動を展開しておられる様子。果してどうなるのでしょうか。

(能登・会社員・27歳)

## 定時制も今年度 かぎり姿消す

三十八年四月、白根市周辺住民の熱望により、開校した白根高校(長谷川憲一校長)。普通科四学級、家政科一学級と、定時制の本校と白井分校でスタート。しかし、白井分校は生徒数が減ったために五十一年三月に閉校、定時制は今年度で閉課程となり、十七年の幕を閉じます。創立二十周年を目前にしたが、追いつけ追いつけをかけるように今度は「ひのえうま対策」による家政科の募集停止というダブル



マイク片手に  
インタビュー

白根高校  
家政科三年生  
Sさん

三年間学んできた家政科がなくなるのはとても寂しいです。初めて先生から聞かされたとき「ほんとかしら？」と自分の耳を疑ったほどでした。来年から家政科をめぐす中学生は新潟市まで通わなければならないようになります。これはみんなの切なる願いなんです。

白根高校  
Iさん B

残念です。地元一校しかない高校の、それも一学級しかない家政科が募集停止されることに対して憤りを感じます。むしろ、もう一校増やしてほしいとさえ思っていました。学区に恵まれすぎて生徒が市外へ流出。競争もなくて、とびぬけた個性もない……。もつと父兄や、関係中学校の先生方からも、この地方唯一の高校として認めてもらい、白根高校を上昇気流にのせていきたいものです。

受験生をか  
かえる父兄  
Yさん

地元にも高校があるのだから、ほんとうは新潟市まで通わせなくともいいのではありません。家政科はなくてもいいけど、普通科をもっと大幅に増やして実力をあげてほしいものです。

白根高校  
教諭  
Tさん

家政科の募集停止は反対です。この地域に家政科の果たしてきた役割は大きいものがあります。家政科を志望する生徒を無視することはできません。この処置によって他市へ通わねばならなくなってしまいます。

白根高校  
P O T A  
Oさん

白根高校よりもあとに開校した黒崎高校は学級増により、一学年八学級になっているそうです。巻町では四校もあるのに、市でありながらも一学年四学級というのは、実に情けなく思っています。

新潟市へ通  
う会社員  
Mさん

高校も勤め先も白根ではなかったものの、実に不愉快ですね。ただ一つしかない高校、しかも市でありながら一学年五学級しかない高校なんて例がないと思いますよ。それが今度は四学級に、それを黙って見ている市民性を疑います。



定時制が暮を閉じ、家政科が募集停止と、揺れ動く白根高校。この地域ただ一枚の高校が発展、充実していくには市民の理解と協力が不可欠です。

## 古くからの根強い 新潟市志向変わらず

戦後、スタートした新制高校誕生以来の学区(公立高校通学区)が今日まで続き、白根市は学区に恵まれています。そのため、白根高校が新設されてからも新潟市志向の強い学区の傾向は変わりませんでした。以前は競争率の高かった家政科は、学区内のめざましい高校新設や学級増に遅れをとり、社会の流れが職業科志向から普通科志向に移るに及んで、左図のように志願者が激減してきました。

ついに五十五年は定員を大幅に削り、折り悪くも「ひのえうま生徒減」の時期と重なって、これが募集停止の対象校となった要因ともいわれます。現在でも市内から市外の家政科に関した高校に多数通学している

ことから、あえて家政科が白根に必要とは思われないとする考え方が強かったそうです。

## 募集停止で県下六 番目の小規模校に

「地元の高校の危機感をもつと真剣にみつめてほしい。新潟市の衛生都市として、ふさわしい高校にしなければなりません。六学級以上の高校に早くしたいと思っていた矢先のことです……」と語る長谷川校長。

県下二十市で一か校しかない市は白根市ほか五市。一学年四学級になると、三学級の安田高校ほかに次ぐ、県下で六番目に小さな高校になってしまいます。来年度の入学希望者を調査したところ四十九人に達していることもあって関係者あげて精力的に存置陳情を進めています。もしも家政科がなくなった場合でも、このままであっては困ります。家政科復活や、学級増にむけて全体的な運動として盛りあげ、白根市にふさわしい高校にしていきたいものです。

